

夏季におけるマスク着用について

— 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の変更点 —

福岡県立玄界高等学校長

下記1は「マスクを外しても感染を防止することができる」、下記2は「新型コロナウイルスの感染リスクよりも、夏季に熱中症のリスクが高まる場面でマスクを着用したままの方が命に関わる可能性がある。」という専門家の指摘を受けた上で新しい対応に変更します。生徒及び保護者、地域の皆様には御理解と御協力をお願いします。

記

1 マスクを外してもよい場面「マスクを着用する必要はありません。」

- 屋内・屋外問わず、2 m以上あり、会話がなし
(ただし、屋内で会話する場合は着用)

2 マスクを外す場面「マスクを外さないと熱中症のリスクが高くなります。」

- 屋内・屋外問わず、体育の授業、運動部活動
- 徒歩や自転車での登下校時

ただし、社会の全ての方が同じように理解し、同じような対応をとるかどうかはわかりません。マスクを外すことや外している人に対する不安を持つ人がいるかも知れません。生徒の皆さんは、上記の基本的なルールを知った上で、マスクを「外す」、「着用する」の場面に応じた判断を適切に行ってください。

なお、密集・密接・密閉の3密を避けることや、手洗いうがいなどの感染防止対策はこれまでと同じく継続してください。

**正しい知識で、
正しく判断し、
正しく行動しましょう！**

